

# DOYU

あおもり

2022 Sep

9

vol.256



- 02 経営指針特集
- 06 会員企業紹介
- 08 青年部会設立総会
- 09 委員会活動報告
- 11 共に生きる障がい者問題委員会コラム
- 12 新会員紹介／編集後記

# 経営指針特集

## 「代表理事に聞く」

青森県中小企業家同友会

代表理事 大坂 憲一 氏

(株)大坂組・代表取締役社長・

経営指針を創る会 第1期修了生)

「青森同友会の経営指針の位置づけについてお聞かせください。」

「せっかく同友会に入会したならば経営指針を創りましょう」とよく聞きます。たしかに会社を経営していく上で、社員の皆さんに進むべき方向性を指し示し、迷った時に頼りとなるのが経営指針です。会社が存続していくことは業



種に関わらず社会的な責務

です。指針書がそのた

めの航海図と羅針盤である

ことは間違いありません。

ただ、各社によってタイミ

ングが異なることも確かだ

です。今年なのか、半年後な

のか、それぞれだと思いま

すが、私自身も経営指針を

創ることで気付かされたこ

とが沢山ありました。その

経験から言っても早いほう

が良いと思います。そうした意味で

青森同友会にとって経営指針の成文

化運動は企業経営の根幹をなすもの

だと言えます。

「ご自身の経営指針成文化の経験についてお聞かせください。」

当初、わが社には経営理念はあり

ましたが指針書はありませんでした。

37歳で社長に就任した際、社員

を前にして相田みつをさんの「花を

支える枝 枝を支える幹 幹を支え

る根 根は見えねんだなあ」という

言葉を引用して築きたい企業像を表



現しました。私の場合は、そのなり

たい企業像に近づいていくために経

営指針を成文化しました。会社は

皆で創っていくものですから、社員

の一人ひとりが主体性をもって働け

る会社にしていくためにどうするか

を、経営指針を創る会を通して学び

ました。私たちの期は受講のために

仙台へ数回出向きましたが、宮城同

友会の先輩方から毎回質問攻めにさ

れ、ケチヨンケチヨンにされました

(笑)。帰りの新幹線ホームで早く列

車が来ないかとソワソワしていたも

のです。



もっと素敵に環境創造

総合建設業  
株式会社 大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

## 経営指針特集

—今後の指針づくりへの期待をお聞かせください。

経営指針を成文化した会員企業が輝き続けてくれることを期待します。指針を創ることで会社が良くなっていることが目に見えて分かる事こそが経営指針の素晴らしさを体現することになります。経営者として常に頭の片隅に経営指針を意識して考え続けることで人間的にも経営的にも成長していけると思います。まだ経営指針を創っていない会員さんにはぜひ一度、検討していただきたいですね。



### 経営指針委員会

#### 委員会立ち上げの経緯と

#### 今後の展開

##### 経営指針委員会

委員長 附田 久志

経営指針を創る会を経年していく中の懸案事項が二つありました。一つは委員長と副委員長だけに重荷を負わせていいのだろうか？これだから委員長を受けてくれる人材がいらない。どのようにしたら委員長を二つ返事で引き受けてくれる体制が作れるのだろうか。もう一つはせっかく経営指針を創っても継続していない会員さんがいる。どうしたら毎年更新していただ



るのか！この二つの問題を解決しようと立ち上げたのが経営指針委員会です。経営指針を創る会を単年度の実行委員会形式とし、基本的に実行委員長を務めるのは1期のみ。これならば引き受けてくれる修了生もいるだろう。また、実行委員長を数多く輩出することで指針創りの会が活気づいていくだろうという思惑もありました。今期は受講生が少ないという難しさもありますが、実行委員会がしっかり機能して臨機応変に対応しているようです。もう一つの問題「指針創りの毎年更新」です。折角作成した指針を活かすことなく埋没させているお話を聞くと寂しくなります。そこで、何とか指針創りを継続して頂いて良い会社経営に活かし続けて頂けるようなプログラムの啓蒙活動ができないものかと考えていました。同友会には「企業変革支援プログラムSTEP I・II」なるものがあります。各地同友会でもSTEP Iまでは浸透しているものの、STEP IIになると二の足を踏んでいるようです。今年の10月以降に統合されたプログラムが発行されるようですので「企業変革支援プログラム」の県内浸透を図り、継続していく活動こそが経営指針委員会の今後の活動と捉えています。どこまで浸透できるかは未知数ですが、経営指針と企業変革支援プログラムをセットで活動していきます。

産業廃棄物収集運搬・処分業  
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21  
**東管工業株式会社**  
代表取締役 蛭 沢 宮 行

TEL 0175-63-4450  
FAX 0175-63-4467

### 【つながらる経営指針づくりを目指す！】

今年度、第19期「経営指針を創る会」の実行委員長を務める第4期修了生の川越内装 代表の川越隆雄さんに聞きました。

私自身が受講した当時と違い、社会情勢の変化もさることながら受講生も創業者中心から後継者層が多くなってきています。そうした変化も盛り込みながら、現状に即して運営方法も進化させたいと思っています。また、これから経営指針を創ってみたいと思う会員さんから支持されることも大切です。これまでの「創る会」の課題を抽出し、変えるべきことは変え、培っ



てきた大切なものは残すことで、より良い経営指針創りに寄与していきたいですね。

受講生の皆さんには、6カ月という期間を通して自分自身を信じ、自信を持って会社経営をしていけるようになってほしいと思います。私自身が抱いている「受講して本当に良かった。弱かった自分に自信が持てた。仕事への考え方、取り組み方が変わった！」という想いを皆さんにも実感してもらえたら嬉しいです。

経営指針を創ることで、それまで考えもせずに行動していたことが地域社会と関わり、影響をおよぼしていることに気づくのです。指針づくりは地域からの信頼を得ることに他なりません。「信頼を得ること」を学び、現在も日々実践しています。

今期の経営指針を創る会は、各支部の一番身近な修了生がバックアップする体制とし、さらに各修了生が自身の受講時の



経験を活かしてもらい、感じたことや実践していることをしっかりと19期生に伝え、仲間と相談しながら共に成長していきたいと思えます。そして、みんなで創り、変えていきたい、変わっていききたいと思えます。すべての修了生がつながって、成長できる体制づくりを目指しています。

経営指針を創る会に興味を持たれた皆さん、「家族、社員、取引先を幸せにする為に、何ができるかを一緒に考えましょう！」



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6  
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306  
<http://www.jinpachi.co.jp/>



# 経営指針特集

## 経営指針とは

例会などでよく耳にすることの多い「経営指針」という言葉。皆さんはどのようにとらえていますか？ここでは経営指針の成り立ちについてご紹介します。

経営理念、10年ビジョン、経営（基本）方針、経営計画の4つで構成される、自社が進むべき進路を明らかにする経営計画書のことです。自社が未来永劫にわたって維持発展していくために、今日何をするのかを全社一丸となって確認し、取り組んでいくために欠かせない航海図と羅針盤が経営指針なのです。

### 1. 経営理念

その企業の目的と経営するにあたっての根本的な考え方を示したものです。自社は何を目指して進んでいくのか、企業として追い求め続ける「夢」であり、言い換えるとお客様、地域、社員の皆さんとの約束を文字にしたものが経営理念です。時代が変わってもその企業が「何をもって」真価を発揮し続けるのかを明示します。

### 2. 10年ビジョン

10年先、自社はどうなっていたいか、どれだけ魅力的になっただけかを構想して鮮明に描き出したものが10年ビジョンです。10年後という比較的身近な「未来」を示すことで、社内でイメージを共有し「今日」の行動と追い求め続ける「夢」である経営理念を結びつける役割をもっています。

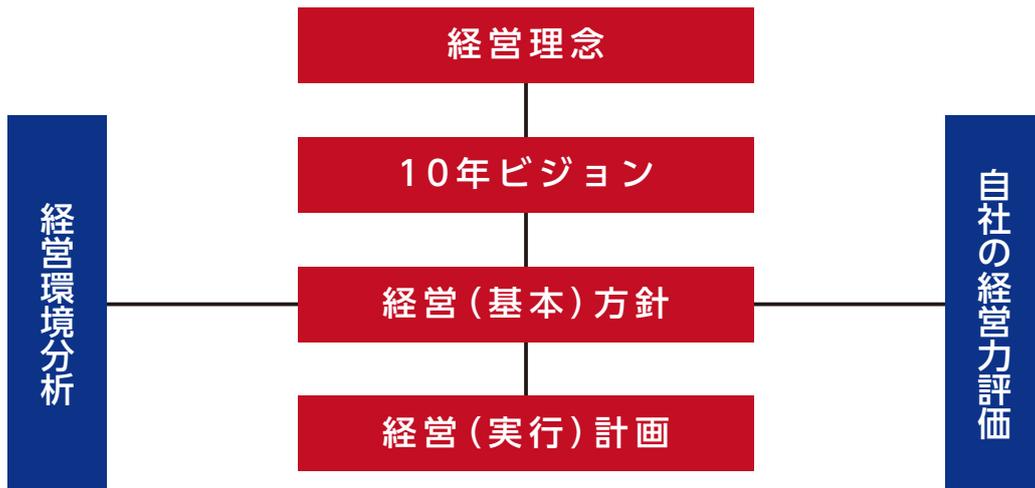
### 3. 経営（基本）方針

10年後にビジョンで描いた姿の自社になっただけのためにお客様、地域、社員に対してどのようにアプローチしていくのかを数年単位のスパンで定めるのが基本方針です。中期的な視点で目標を定めて方向性を示します。

### 4. 経営（実行）計画

経営理念という、追い求め続ける目的に向かい「今日（今年）、何をするのか」を表したものが経営計画です。「概念」としての経営理念を具体的な「今日の行動」と結びつけ、時代の変化に敏感に対応していくのが経営計画です。

## <経営指針成文化の枠組み>



広告物製作施工

株式会社エーアンドエム

〒031-0823 青森県八戸市湊高台3丁目3-3  
TEL0178-35-0789 FAX0178-35-0788

青森県知事許可（般-24）第100121号

Oct, 有限会社 オクト

〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14  
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

■内装仕上工事（軽鉄・ボード・床・クロス） ■タイル・石工事 ■ビル・住宅リフォーム工事

# 会員企業紹介

## 創業 60 年のその先へ

### ササキ石油販売株式会社

代表取締役専務 **佐々木 佳 弘** さん

〒034-0301 十和田市大字奥瀬字小沢口 425-3  
電話：0120-302-026  
ホームページ：https://sasaki-gs.com/



#### 入社時の経緯

高校を卒業し、佐々木氏は当時のササキ石油販売で働くことは考えておらず、上京して働きながら趣味のバイクや車を中心とした生活を送っていた。それからドラッグレーサーになりたいという夢ができ、ドラッグレースの環境が整っている宮城県に拠点を移した。仕事は趣味のモータースポーツが燃料をたくさん使うからという理由もありエネルギー関連の大手商社に入社。平成15年に先代の社長である父が亡くなり後継者として母が代表取締役に就任。自身は母が代表になって3年後に会社を立て直しも兼ねてササキ石油販売に入社。今振り返ると、もともと帰る予定はなかったが、気が付けば地元に戻るためのレールに乗っていたと佐々木氏は語る。

#### 入社時から現在の取り組み

入社時は会社に家族や親戚が多く円滑な関係を築く事にとっても苦労しながら仕事をしてきた。業務に関しては、前職と比べての地域性や働き方のギャップを感じたものの、少しずつ環境に慣れ、会社の課題が見えてきた。当時、社内の数字への意識が低いことから、経理の公開を行い黒字の部署、赤字の部署を明確に

した。社内に数字を意識するようになったが、黒字の部署の社員からは赤字の部署の社員と同じ待遇はおかしい等の意見も出て、そうした社員みんなの考えのベクトルを合わせるのに多くの時間がかかった。会社と社員のベクトルを合わせることで出来るようになったのは同友会で経営指針書を作成したことがきっかけだった。経営指針書を活用しながら社内改革を行い、会社の理念(目的)や方針、目標を社員と共有することにより少しずつベクトルが合ってきた。現在も毎年経営指針書を更新し社員と共に成長できる環境づくりを行っている。

#### 新規事業について

佐々木氏はササキ石油販売に入社した当初から、主な事業であるガソリンスタンドだけでは、経営を維持発展させることが難しいと考え、エネルギーというジャンルの中で再生可能エネルギー(太陽光・風力)や電気自動車、水素エネルギーなど様々な分野を勉強し、多くの企業と協力して事業を展開している。現在は全国でも珍しい小型モビリティのレンタルを開始し、観光やイベント等に活用していきたいと語る。

また、人を生かす経営の観点から2019年に株式会社想い工房を設立し、就労継続支援B型事業所OMO:ぱれっとを開設。ガソリ

●モニュメント  
●デザイン  
●ネオン  
●サイン

ART DESIGN  
株式会社  
**アイサイン**

Call 0172 62-5508 Fax 62-5516  
Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1  
URL <http://www.ai-sign.com> MAIL [aisign@infoaomori.ne.jp](mailto:aisign@infoaomori.ne.jp)

私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

**ササキ石油販売株式会社**  
SASAKI

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3  
☎0176-72-2026(代) [sasaki-gs.com](https://sasaki-gs.com)

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)  
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油  
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム



ンスタンドで行っている業務を分解すると単純作業でありながら、人の手で行わなければならないものがたくさんあり、そうした作業は障がい者を含む多くの人が活躍する場が創れ、スタンドの社員はその他の業務にもっと時間を有効に割くことが出来るので、結果として顧客満足度の向上にもつながっていく。さらに、利用者がさまざまな業務を通じて成長できる場所を創ることが人材育成となり、社会貢献につながるという想いで会社を設立した。想い工房では働く喜びを追求する、という理念を掲げ、社員も利用者も生き活きと活動できる場所になってきている。カフェ（想いの木かふえ）など新しい事業にも拡がっているという。

## 世代交代にあたって

今年創業60周年を迎えるタイミングで佐々木氏は代表取締役社長となる。今まで代表取締役専務として経営に関わってきたので、社長として行う業務にはほとんど変化はないというが、これからは現在の佐々木氏のポジションを担う後継者について慎重に考えていきたいとのこと。

## これからのビジョン

エネルギー事業は外部環境の影響

が大きく、脱炭素やガソリン車廃止等ニュースや新聞からいろいろな話が聞こえているが、果たしてその通りになるかわからないと佐々木氏は考える。最終的にエネルギーは自分で作って使う時代になるかもしれない。現在のササキ石油販売のメインであるガソリンスタンドやガスのエネルギーの供給事業はお客様の「快適な暮らし」をお手伝いするサービスの一つであり、もしガソリンやガス等の商品がなくなっても、暮らしのワンストップサービスとして今までやってきた経験とこれから挑戦する事業を掛け合わせて「快適な暮らし」を提供できる企業を目指していきたいと意気込む。

## 取材を終えて

今回佐々木氏にわくわくするお話をたくさん聞かせてもらいました。この記事にはお話ししたほんの一部しか掲載出来ないのが非常に残念です。ササキ石油販売のホームページに夢が詰まった、心躍る10年ビジョンがイラストで分かりやすく載っているのではありませんか。取材してみても必ず描いた姿になると私は確信しました。



記…大和 英樹

屋根・外壁・リフォーム工事 板金工事の専門会社です。

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼22-17 TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833

屋根があれば人は集まる。

**KUDO BANKIN KOGYO**  
60th anniversary

**有限会社 工藤板金工業**

# 青森同友会に青年部組織が誕生



7月14日(木)、青森市のウエディングプラザアラスカで青年部会設立総会と基調講演が開かれ64名が参加しました。対面形式のみでの開催でしたが、県外からも多くの経営者が青森まで応援に駆けつけてくれました。総会では觸澤篤司部会長から、青年部会に対する熱い思いや方針が発表され、青年部会として最高のスタートを切ることが出来ました。基調講演は秋田同友会・佐藤食品(株)代表取締役の佐藤賢一氏を講師に迎え「伝統の継承と4代目としての実践」と題して行われました。事業内容は食品製造販売で主に佃煮の製造と販売を手掛ける同社。佐藤氏は大学卒業後、他県の佃煮屋で2年間修行し、平成19年に佐藤食品(株)に入社しました。その後他社での経験を活かし経営に関わっていたものの赤字や社員との人間関係、意思の疎通が図れず悩んでいる時に同友会の経営指針を創る会を受講し、社員を大切にすることを学びます。そして同友会の青年部活動を通じてインプット3割とアウトプット7割で様々な事に挑戦した結果、少しずつ社内の雰囲気は良くなり赤字も解消されたそうです。色々な課題は解決されてきたものの、今までと同じことを繰り返すのではなくその時代に合う事に挑戦していかなければいけないと通關しているといえます。そして伝統とは「挑戦・革新し続けるもの」と締めくくりました。基調講演後には兵庫同友会から第50回青年経営者全国交流会 in 兵庫のPRをしていただき、他県の青年経営者からたくさんの力を頂くことが出来た素晴らしい青年部会設立総会と基調講演となりました。



記：大和 英樹



お試し入店スマホアプリ  
ぶらりん@タウン  
**Burarin**

気になっていたお店や  
行ったことのないお店で  
「ぶらりんセット」を  
頼んで、お試し体験!

まずは  
ホームページを  
チェック!



お問合せ

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号  
Web <http://www.sancom.co.jp/> TEL 0178-21-1255

# 委員会活動紹介

## 経営指針委員会

委員長 附 田 久 志  
(株)青北建設・代表取締役社長



4月から開講した第19期「経営指針を創る会」は受講1社と少ないですが、その分修了生の皆さんの熱心な関わりで講座が進んでいます。10月の発表会に向けて、全体の整合性を確認する作業などが大詰めを迎えていきます。

この秋、経営指針成文化を考えると、きつかけともなる「企業変革支援プログラム」が改定されることになっています。自社の立ち位置や業界分析、社内体制の状況を数値化して視覚的に理解することができるこのプログラムを活用して、

青森同友会の経営指針成文化運動を親しみやすく、より会員の皆さんの経営力強化に貢献していきたいと考えています。

## 共同求人委員会

委員長 花 田 仁  
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長

2022年度の共同求人委員会活動方針は

- ① 企業のPR動画をSNS上で公開するなど視覚的効果を狙う
- ② オンライン企業見学会の企画
- ③ 共育型インターンシップの受け入れなど、時代の変化に対応した求人活動が必要との観点から実践していかねければなりません。

「人づくり・企業づくり・地域づくり」の実践活動を目的とする共同求人委員会ですが、採用に至るまでのプロセスも大切であり、特に委員会企業の若い社員さんの参加で「業種・業態として自社のことを知り、伝える難しさと大切さを知った」など企業内の活性化にも繋がっているようです。

新卒採用では半数が地域(青森県内)での就職を希望している状況にあって、若者の絶対数が減ってきている現状では、採用に至っていない企業も多いようです。しかし地元企業として、給与・福利厚生面で首都圏企業に見劣りすると諦めることなく、地元企業での働きがい・生きがいや若者にしっかりと伝え、選ばれる企業づくりを目指したいものです。

求人活動も、まだまだ厳しい状況ですが、地域発展の原動力となる若者たちが生き生きと暮らせる躍動感ある地域づくりの実践にむけて取り組みたいと考えます。

## 社員共育委員会

委員長 佐々木 佳 弘  
ササキ石油販売(株)・代表取締役専務

社員共育委員会では多くの企業が年度始めとなる春先の研修活動として、合同入社式に併せてフレッシュ社員研修、そして5月から3回講座となる中堅社員研修を開催しました。

3回講座の中堅社員研修では岡部あゆみ氏をメイン講師として、コミュニケーションの大切さ等をグループワークで学び、(株)エアィサイさんの生産性を上げる徹底3S工場見学など、中堅社員に求められるスキルをより実践的に学べた研修会でした。

どちらの研修も自社での立ち位置にあわせた成長する機会として、委員会内容を検討してきました。会内外から専門家を講師に招き、より身につけやすい学びの時間だったのではなにかと思います。

次は9月に女性社員限定研修会があります。ぜひご参加ください。



ニッポンの窓をよくしたい



MADOショップ 八戸青葉店



MADO ショップは、納得できる窓リフォームのお店です。

株式会社 幾屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17  
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104



有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設的设计、施工

むつ市中央2丁目21-1  
TEL.0175-29-5611

釜山山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

## 共に生きる 障がい者問題委員会

委員長 中西直美  
(一社)りあん・理事長

今年度は昨年引き続き障がい者雇用への啓蒙活動として雇用に至るまでの流れについて学ぶ「シリーズセミナー」を企画しています。また、主に特別支援学校に通う生徒を対象として、実習の受け入れが可能な企業をインターネットの地図上で公開する「実習受け入れ企業マップ」の作成にも着手しています。また、秋には青森支部の設営で開催される第21回経営研究集会の基調講演、分科会にも協力していくことが確認されています。引き続き「誰もが手を携えて共に働き、生きることが当たり前の社会の実現」に向けて活動していきます。



## 広報委員会

委員長 大和英樹  
(株)マルヤマ・代表取締役

広報委員会では、6月7日に委員会版『DOYUあomorい』9月号の編集会議を開催しました。今回の『DOYUあomorい』は経営指針の特集記事を組み、経営指針を多くの会員さんに知ってもらおうという記事にすればよいか話し合いを行い、青森同友会会員の経営指針に関するデータや経営指針の簡単な説明、代表理事の想いや経営指針委員会の役割についての内容を記事にすることで話がつままり、取材しました。次回委員会版『DOYUあomorい』12月号は共同求人特集の予定なので、共同求人に関する取り上げたい内容がありましたら広報委員会まで情報提供をお願いします。



## 女性部会

部長 岩木節子  
(有)岩木建設・専務取締役

『女全交がリアル開催され、参加者各々からの報告例会』  
出雲大社のある島根県にて第25回「女性経営者全国交流会(女全交)」が6月16、17日に開催され、3年ぶりがリアル開催に全国から600名近くが集い、熱気のある2日間でした。青森からは女性の代表2名と幹事の3名、男性の代表1名の6名が参加しました。コロナ対策をした懇親会が分科会ごとに会場が分かれ、配慮が行き届いたおもてなしや運営方法にとっても嬉しい気持ちになりました。

7/21に上十三支部例会と女性部会の合同例会が行われ「行くこうよ、全国行事!」と題して5名の参加者から参加報告があり、質疑応答で内容を深めました。2日間にわたる分科会と基調講演の学びは各自の立ち位置の視点・感覚によって変化に富み、参加者の学びとなったのではないでしょう。



男性参加者の(株)青北建設の附田社長からは、女全交の男性参加者が半数近くあつて驚いたことと全国の女性部の活気で同友会を盛り上げれば、と視点が変わった等の報告もあり、男女共同参画の観点からも、女性部の存在意義を再認識できた例会になりました。来年6月には福岡県北九州市で女全交が開催されます。皆ささんで全国行事に参加しましょう!

## 青年部会

部長 觸澤篤司  
(株)アイティコワーク・代表取締役

青年部会は、昨年11月に設立準備委員会を設置し、設立承認に向けて活動してきました。4月の定時総会で青年部会の設立承認を頂き、6月には仙台市で行われた中同協の青年部連絡協議会、並びに第3回東北青年経営者フォーラムへ出席し、青森同友会に青年部会が設立される旨のPRを東北ブロックや全国の青年部組織に向けて発信しました。

去る7月14日に青年部会設立総会を無事開催し、他県青年部を含め沢山の応援の声を頂き、第一歩を踏み出すことが出来ました。以降の活動についてですが、9月に兵庫県で行われる第50回青年経営者全国交流会への参加、上十三支部と青年部会の合同例会として宮城同友会青年部から報告者を招く計画や、経営研究集会に青年部会設営の分科会を設けて頂き、福島同友会青年部から報告者を招く計画など他県交流を中心に活動していきます。

是非、全国の活気ある経営者に関わるきっかけを青年部会で掴んで頂ければと思います。

## 【共に生きる障がい者問題委員会コラム 障害者雇用のポイント⑤】

### ◎ご存知ですか？『障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度』



- ・愛称の《もにす》とは、共に進む(ともにすすむ)を略したものです。企業と障がい者が共に明るい未来や社会に進んでいくことを願ってデザインされました。
- ・法定雇用率を達成した上で、所定の認定基準項目(50点満点中20点以上獲得)を満たすことで、障がい者雇用の促進や安定に関する取り組みをしている優良な企業として認定を受けることができます。

### ◎認定事業主となることのメリット

- ・認定マーク(もにす)を使用できます。
- ・厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークによる周知広報の対象になります。
- ・日本政策金融公庫の低利融資対象となります。



『障がい者が働きやすい』職場作りは  
『誰もが働きやすい』職場へ繋がります！

◎どんな制度があるのか、どんな機関・窓口があるのか、どんなサポートが受けられるのか  
障がい者雇用における疑問や困りごと、各種相談など、お気軽にご連絡ください。

～『共に生きる障がい者問題委員会 よろず相談窓口』まで～

# Welcome to DOYU!

## 新会員紹介



【青森支部】  
 (株)A-Run  
 代表取締役  
 齋藤 康生

障害または難病の方々の、一般企業での就職・定着を支援します。

〒038-0042 青森市新城市平岡 231-8  
 TEL:017-763-4471 FAX:017-763-4472  
 URL:<https://www.a-run.jp/>



【八戸支部】  
 (株)イデアルライフ  
 野月 博至

総合保険代理店です。  
 IFAで証券も取扱い、お客様をトータルサポート致します。

〒031-0072  
 八戸市城下1丁目12-1 3F  
 URL:<https://ideal-life.co.jp/>



【八戸支部】  
 (株)テックサポート  
 代表取締役  
 玉川 隆

弊社は設立10年。公共工事の電子納品代行を軸に、建設会社様をサポートしています。

〒039-1167 八戸市大字沢里字古宮 35-22  
 TEL:0178-20-7323 FAX:0178-20-7324  
 URL:<https://llctechsp.jimdofree.com/>



【八戸支部】  
 (株)プレジール  
 赤坂 みか

リンパエステとツボ療法のお店を夫婦で経営しています。  
 資格取得や独立もサポートしています。

〒039-1103 八戸市長苗代上坂田 48-6  
 TEL:0178-22-0873 FAX:0178-27-0925



【青森支部】  
 (株)東洋社  
 代表取締役専務  
 岡崎 勇介

ご家庭の洗濯物からホテル、病院内まで、トータルクリーニングしております。

〒030-0964 青森市南佃 2丁目26-6  
 TEL:017-743-1641 FAX:017-743-1645  
 URL:<http://toyosha-co.jp/>



【八戸支部】  
 (有)総合保険センター  
 大久保 昌義

各生命保険、損害保険代理店業。

〒033-0001 三沢市中央町2丁目9-1  
 TEL:0176-57-1417  
 FAX:0176-53-4321



【八戸支部】  
 (有)八戸マイホームセンター  
 専務取締役  
 間山 健一

弊社は、建築士が一貫して設計監理を行う建築物、不動産、損害保険業といった、お客様は快適で、かつ、安全な暮らしを送るためのサポートを業としています。

〒031-0003 八戸市吹上2丁目21-39  
 TEL:0178-44-6010 FAX:0178-47-7676  
 URL:<http://8myhome.com/>



【津軽支部】  
 Saviluna Lumie  
 (サビルナ ルミエ)  
 マネージャー  
 山崎 昭彦

当サロンは体のコンディションを整え予防に特化した健康サロンを作りたい...と考えたのが始まり。いつまでも健康で美しくありたい...あなたのためにお客様の未来に寄り添えるお手伝いを致します。弘前駅前、45歳以上女性限定。完全個室・予約制の会員制ヘルスケアサロン。

〒036-8003 弘前市駅前町5-2 照光堂ビル2階  
 TEL & FAX:0172-80-9186  
 URL:<https://www.savilunalumie.com/>



【津軽支部】  
 タグボート(株)  
 代表取締役  
 水口 清人

平川市で「津軽おのえ温泉 福家」を経営しております。  
 新たにCRAZY CIDER(シードル事業)も開始しました。

〒036-0213 平川市新屋町下ノ下 35-2  
 TEL:0172-55-0200 FAX:0172-55-0198  
 URL:<http://tugboat-consultant.com/>



【上十三支部】  
 科学工房げんしじん  
 代表  
 萌出 浩

打楽器やブーメラン、火おこしセットなど世の中にあまり出回っていない珍しいものを制作し、毎週八戸市館鼻岸壁朝市で販売中。  
 出前科学講座も承ります。

〒039-2654  
 上北部東北町塔ノ沢 404  
 TEL&FAX:0175-63-3790

## 随時 会員募集中!

### \*\*\* 編集後記 \*\*\*

DOYU あおもり 9月号は委員会特集第2弾として経営指針委員会にスポットを当てた特集となっております。同友会では経営指針の創り方、運用のサポートをしていますので興味がある方は経営指針委員会や事務局までお気軽にお声掛けください。そしてついに青森同友会青年部会も設立されたので、今後の盛り上がりにご期待ください。


**株式会社 ローズリー資源** <http://www.rozure.com/>  
**廃棄物業・総合リサイクル業**  
 本 社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303  
 TEL 017-744-0575, FAX 017-744-0579  
 南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊内字地蔵平1-578  
 TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295